

かながわ子ども教室

ニ ュ ー ス 第85号

新型コロナ緊急事態宣言の再発令・再延長への対応



ダイヤかながわ交流会代表 松下 恵造

新型コロナウイルス対策として首都圏4都県に発令された緊急事態宣言は3月8日から再延長期間に入り、新たな期限は3月21日となりました。首都圏の新規感染者数は下げ止まり、リバウন্드의懸念もあります。さらに、変異ウイルスによる感染拡大の懸念もあります。このような状況のため、3月17日に開催予定の「3月度定例会」は昨年9月度、12月度に続いてZoomによるテレビ会議システムで開催させていただきます。

定例会での招待講師は小島会員の紹介により、元アゼルバイジャン兼グルジア大使の藤原稔由様をお願いして、「ナガルノカラバフ紛争」ーアゼルバイジャン・アルメニア間の同紛争を中心にコーカサス地域の民族紛争・領土紛争を考えるーのテーマで講演をいただけることになりました。

また、会員スピーチは羽佐田会員と佐藤邦彦会員により「東京オリンピックの思い出話」をしていただきます。このスピーチは昨年3月のDAA全体交流会で企画した「オリンピック・1964 東京大会の思い出談話」の中でお話しいただく予定でしたが、新型コロナウイルスの第一次感染拡大のため中止となったものです。今年1月に、東京オリンピックの開催が未確定の段階でしたが、両会員にスピーチをお願いしたところご快諾をいただきました。

定例会にはダイヤ高齢社会研究財団からは常務理事・佐藤一三様にもご参加、ご挨拶をいただける予定です。会員の皆様には一人でも多くの方にご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。また、これまでZoomでの定例会に参加されなかった会員の方も、メールを見られるパソコンがあれば、カメラやマイクが無くても発表者の画像や資料は見られますので、お問い合わせをいただければ参加手順を説明させていただきます。

緊急事態宣言の発令下で、DAA各グループでは一部の野外での活動を除いて殆ど中止の状態が続いているようです。そして当会と同じように、会議や会員相互の情報交換のためにZoomの活用を実施または準備されているグループが多いようです。

当会での活動も野外で実施できる「ゴルフ同好会」は発令の再延長が無ければ4月20日に開催の予定で、「歩こう会」は発令が解除されれば春の実施で準備を進めます。その他の活動については解除後もさらに様子を見る必要があります。

一方、会員の皆様と当会のつながりを意識していただく上で、全会員に対して大竹会員（観劇鑑賞会）は昨年5月頃から「TV鑑賞のご案内」を、勝浦会員は昨年7月頃から「新型コロナ関連情

報」を毎週継続してメール配信していただいております、大変感謝しております。

変異ウイルスは感染力が強いと考えられており、子供のような若年者にも容易に感染し易く、さらには重症化し易いかもしれないという可能性も示唆されています。個人の対策としては、これまでと同様に、体調管理と不要不急の外出を控えて、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いやアルコールによる消毒の励行などに徹しましょう。そして、4月から一般対象で開始が予定されているワクチン接種の効果により新型コロナ感染が収束方向に向かって、通常の活動が一日も早く再開できることを切に願っております。

＜かながわ子ども教室＞（小島啓三郎）

12月までにZoomによるリモート教室が2回、生徒人数を限定し感染対策に十分に配慮したリアル教室が13回開催された後、1月は3回予定されていたものの緊急事態宣言発令により、すべて延期・中止となり、2月に延期されていた教室もさらに3月に延期されました。3月はリモート教室が1回すでに実施されましたが、23日以降に予定されていた7回の教室のうち、1教室は中止となり、残りの開催も緊急事態宣言がどうなるかにより予断を許さない状況にあります。

コロナの収束時期が読めない情勢の中、来年度の開催計画そして予算を立てていかなければならない状況ですが、一応、6月ごろに収束というケースと、9月に収束という2つのケースで考えていこうと思っております。

いずれのケースも秋以降に教室が集中することを想定しており、同日複数回開催の可能性も高くなってまいります。このような場合にZoomによるリモート教室を併用することはサポーター不足の解決手段となりますので、対応可能な教室を増やしていくことはコロナが収束しても重要な課題であり続けます。

さて、子ども教室開設以来、大竹会員が担当されてきた「世界」教室は3月から私、小島が担当することになりました。この交代を機にZoom対応可能な教室にしていくことも検討しております。膨大な資料・教材を引き継がせていただき、大竹様の今までのご努力・ご苦労に深謝いたしますとともに、低学年の子どもたちを引き付けてきた伝統をどのように受け継ぐか頭を悩ませております。2月の実行委員会で、松村委員から世界地図切り抜き用にカッティングマシンの導入をアドバイスいただき、早速購入し、テストしておりますが、有効なツールとなりそうです（また、地球教室の恐竜工作にも活用できそうです）。

ひろば

交流会と私

大濱 真理子



2010年2月、たまたまTBSラジオ番組「メイコのいきいきモーニング」を聞いたことがきっかけで、「かながわ子ども教室」に入会しました。その後「ダイヤかながわ交流会」にも入会し今年で11年になります。

この度、編集担当の小島さんから、2年前に引っ越しをした、終の「すみか」の老人ホームについて感想を書いて欲しいと依頼され、皆様のご参考になればと思い、拙い文章を書くことにしました。

ここ数年を振り返ると、2017年11月夫を亡くし、長年住み慣れたわが家でのんびり一人暮らしをしていたある日、キッチンで躓いて転び、顔面に怪我をして、救急車を呼ぶ羽目になりました。

幸い日中でまた自力で救急車を呼ぶことができ、大事に至りませんでした。もしこれが夜間や打ち所が悪かったらと思うと、一人暮らしにも不安を感じ、子供の強い勧めもあって24時間見守り付きの老人ホームに入居。2019年3月私の誕生日でした。

それまで「かながわ子ども教室」では、サポーター役で参加していましたが、徐々に右足の痛みが増し、整形外科医から脊柱管狭窄症と診断され、手術しか治る方法はないともいわれ、新しい住環境も整ったので、思い切って内視鏡による手術を受けることにしました。ところが結果が思わしくなく、自力で歩行ができない状態になってしまい、悲しい思いをしております。さらに、コロナ禍で外出も自粛せざるを得ず、教室参加もほぼ不可能になりました。

しかし今にして思えば、衣食住の心配なく24時間見守り付きの住宅へ転居したことは、



グランクレール青葉台外観

その後の私自身の生活のQOLを考えれば賢い選択だったと思えます。今後はワクチンの接種を待ちながら、リハビリに努め、コロナの落ち着きを根気よく待とうと思っております。

さて、本題に入ります。私の住んでいる老人ホームは次の通りです。



居室にて

【物件の概要】

物件名	グランクレール青葉台 TEL045-989-2109
所在地	神奈川県横浜市青葉区榎が丘54-8
交通	東急田園都市線「青葉台駅」徒歩 15 分（駅から約1,180m）
総戸数	45戸
土地建物の権利形態	土地：事業者所有 建物：事業者所有
建築年	2008年
居室区分	全室個室（1R、1DK、1LDK、2LDK）
専有面積	41.73㎡～63.56㎡
駐車場	21台 利用月額 11,525円
類型	サービス付き高齢者向け住宅
居住の権利形態	終身建物賃貸借方式
利用料の支払い方法	選択方式（前払方式、月払方式）
入居時の要件	入居時自立
介護保険	外部の居宅サービス利用可

貸主・事業者

東急不動産株式会社

以上ですが、補足しますとこの青葉台エリアには自立型以外に介護型住宅もあり、介護が必要になったらそちらに移り住むこともできます。

この建物は駅から少し離れた住宅地の閑静な高台に位置し、路線バスの停留所は近く、さらに、建物から青葉台駅までは1時間おきに専用のシャトル送迎車があるので大変重宝しております。

入居者の平均年齢は男性10人で87.3歳、女性37人で85.6歳、合計47人で86.5歳です。

建物の中には共同浴場やカラオケや映画鑑賞もできるオーディオルームもあり、囲碁、将棋、マージャンの設備のほかに絵画、お習字などの自主グループがサークル活動をしております。

健康管理のため年1回の健康診断のほか、外部講師によるロコモ体操とか、他施設と合同のコースなど施設主催の催しもあり、結構忙しいスケジュールが組まれております。

入居の際一番つらかったのは、家財道具のほとんどを処分しなければならなかったこと。家族の歴史を物語る書籍、家具、道具、歌の文句ではないけれど、子供が背比べで付けた懐かしい柱の傷あととも永遠に別れなければならない寂しさは、例えようもありませんでした。

入居時の費用やその他の経費は詳しくはお話しできませんが、入居時の年齢に応じて家賃分を前払いしておけば、その後毎月約20万円の支払いで、安心して暮らせる経済設計が成り立ちます。

最近、新聞の広告欄で、週刊誌の中張り広告で「家を売るな」とか「老人ホームには入るな」とか目に入りますが、確かに思い出の詰まった家を処分するのは感情的に忍び難い思いもしますが、これからはグローバルに生きていく時代、思い切って我が家と決別するのも選択肢の一つだと思います。私の場合、子供たちに家を残されるのはかえって負担だと言われ、家との決別をせざるを得

ませんでした。。。。。

気分を一新して飛び込んだ新しい住まいと生活でしたが、住人の平均年齢は意外に高く、皆さんが生き生きと元気に生活しておられる姿にカづけられ、すんなり馴染むことが出来ました。スタッフのサービスも行き届き、24時間安心して過ごせる環境が整えられているのは嬉しく、心強い限りです。

また、これは大変重要なことですが、お食事が大変美味しいという評判は本当でした。カロリーと塩分表示の献立表は事前に配られ、自分の健康管理に役立ちます。朝食は、ご飯かパン、昼食は、麺類かご飯、夕食はご飯に肉か魚が選べ、時にはカツオのたたきとか、雛祭り御膳や、地方の鍋料理など料理長が腕を振るい、コロナ禍の塾居生活が慰められます。カレーライス、ハヤシライス、うどん、そばなど事前の予約なしで選べるのも嬉しいこと。食事時にはビール、ワインなどアルコールも可！ また、もちろん居室には台所もあり、調理もできます。

「百聞は一見に如かず」コロナが落ち着いたなら是非試食付きで見学にお出で下さい！

思い起こせば昭和56年、1981年はわが家の歴史の上で大きな節目でした。中学2年生の長女が、当時住んでいた宮崎県延岡市で、登校途中のポストに投げ込んだ一枚の「日本住宅公団の宅地分譲応募はがき」が見事当選したのです。分譲枠が1番少ない人気の枠で100倍以上の倍率の分譲地の権利を見事に射止めたのです。奇跡はさらに続き、1週間後夫に東京への転勤命令が下されました。上京して1年間、石神井公園団地に住み、夫の夢でもあった一戸建住宅を凶面に落とし完成した我が家に入居して、子どもを育て、仕事を全うして定年を迎え、安心して老後を過ごせたのは、健康に恵まれたことと良いお仲間に出会えたお陰で、心より感謝し毎日を送っております。

この欄を借りて「かながわ子ども教室」の鳥居さんへの感謝

昨年（2020年）春、思いがけない朗報が私の新しい住まいに届きました。

孫娘が国立大学医学部に合格し、つくば市で下宿生活を送っているとのこと。実はこの孫娘は「かながわ子ども教室」の鳥居先生と深いかわりがあります。

今から10年前の2011年はキュリー夫人がノーベル化学賞を受賞後100年にあたり、「世界化学年」とされた年でした。これに因み日本では東京お台場の日本科学未来館で、「夢・化学—21委員会」が主催する子ども化学実験ショーが開催され、「かながわ子ども教室」も参加しました。当日は、鳥居圭市先生が講師役となり、「身の回りの化学」と題して講義と実験を行い他にサポーター役、受付役その他、延べ21人の子ども教室の会員が参加しました。

私は、小学4年生の孫娘を参加させるため、孫娘と二人朝から会場の長蛇の列に並びました。孫娘は鳥居先生の名講義に魅せられ、鳥居先生に直接会いたいと私にせがみ、後日、十日市場の駅前の喫茶店で、鳥居先生は孫娘のインタビューに快く応じて頂いたのは懐かしい思い出です。（ダイヤかながわ交流会ニュース第48号に詳細記載）

翌年の2012年、孫娘は親の転勤でスコットランドへ移住。2017年に帰国後は東京で高校生活を過ごしていたので、私はほとんど会うことがありませんでした。

先日、孫娘に電話で医学部志望の動機と将来の職業の希望を尋ねたところ、漠然と文系志望だったが、鳥居先生の化学実験ショーを見てから理系の学問に興味を持つようになり、また高校の夏休みのベトナム旅行で現地の子供たちと親しくなり、また医療の現実に触れ、将来は国境なき医師団

など海外で活躍する団体に所属してベトナムの子供たちの医療に尽くしたいと思うようになったとのこと。

この言葉を聞いて私は胸が熱くなり、これこそ子供を理科好きにするという「かながわ子ども教室」の目的でもあったので、早速鳥居先生にご報告してお礼を申し上げなければと思いましたが、2年前に鳥居先生は亡くなられたとお聞きし、思わず言葉を失いました。直接お礼を申し上げられないことが、返す返すも残念でなりません。鳥居先生にはこの場を借りて心から感謝を申し上げるとともにご冥福をお祈り申し上げます次第です。

私の孫娘に届いた鳥居先生の想いは10年を経てようやく実現しようとしておりますが、先日3月8日の新聞を開くと、今日は国際女性デーとか、「まさに機は熟した！時は今！孫娘、優希よ、最後まで努力を惜しまず思いを遂げて欲しい！」と願わずにはおられません。

依頼された原稿と異なることを記載し申し訳ございませんが、どうしても（故）鳥居先生に一言お礼を申し上げたく編集者に無理をお願いしました。